



平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドン・キホーテ

コード番号 7532 URL <http://www.donki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 成沢 潤治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 高橋 光夫

TEL 03-5725-7588

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

平成24年3月22日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	276,939	8.4	17,218	21.3	16,451	17.2	11,935	58.1
23年6月期第2四半期	255,481	1.9	14,193	27.9	14,031	29.5	7,549	23.8

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 11,754百万円 (71.3%) 23年6月期第2四半期 6,861百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	154.90	154.56
23年6月期第2四半期	102.03	98.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	380,139	137,178	35.5
23年6月期	341,300	125,242	36.2

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 135,045百万円 23年6月期 123,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	10.00	—	18.00	28.00
24年6月期	—	10.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	531,000	4.6	28,500	12.5	27,500	9.4	16,410	29.6	212.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	77,077,880 株	23年6月期	77,030,780 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	1,244 株	23年6月期	1,244 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	77,051,299 株	23年6月期2Q	73,982,818 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が依然として残る中で、生産体制の復旧が進み、国内の経済活動は着実に回復基調にあるものの、欧州債務問題や米国景気の減速懸念及び急激な円高の進行、さらに電力供給の制約及び原子力災害の影響により、依然として先行きに対する不透明感が拭えない状況が続いています。

小売業界におきましては、雇用情勢や所得環境が、厳しい状況下にあることに加えて、株価低迷の長期化なども消費マインドを冷え込ませております。そのため、多様化する顧客ニーズはもとより、節約志向に対しても、迅速で柔軟に対応する体制がますます重要な状況になってきました。

このような状況の中で、当社は「顧客最優先主義」を実践する業態創造企業として、高品質のアミューズメントとサービス及びプライスを常に進化させながら、お客さまに「感激」していただける店舗運営実現のため、さまざまな施策を実行してまいりました。

また、お客さまの行動や嗜好の変化にあわせて、買い回り品はもとより、食料品や日用雑貨品といった最寄品に至るまで、品揃えの充実を図りながら、リーズナブルな価格提案を行うことにより、お客さま支持率を高めてまいりました。

さらに、ひとりでも多くのお客さまに「感激」していただけるよう、当期も機動的かつ効率的な出店及び店舗改装を推進するとともに、プライベートブランド「情熱価格」の販売を拡大するなど、グループ総合力を強化してまいりました。

平成23年7月から同年12月末までの店舗の状況につきましては、関東地方に3店舗（東京都－ドン・キホーテ高田馬場駅前店、同町屋店、埼玉県－essence川口駅前店）、中部地方に3店舗（愛知県－MEGAドン・キホーテ豊田本店、長野県－ドン・キホーテ上田店、新潟県－ドン・キホーテ長岡インター店）、中国地方に1店舗（広島県－MEGAドン・キホーテ宇品店）、九州地方に1店舗（福岡県－ドン・キホーテ中洲店）を開店し、その一方で、震災の影響により1店舗（ドイツ仙台若林店）を閉店しました。

この結果、平成23年12月末時点における当社グループの店舗数は、235店舗（平成23年6月末時点 228店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,769億39百万円、営業利益172億18百万円、経常利益164億51百万円、四半期純利益119億35百万円となりました。

セグメントの業績については、①リテール事業における売上高は2,665億59百万円、営業利益は129億18百万円、②テナント賃貸事業における売上高は78億72百万円、営業利益は33億52百万円、③その他の事業における売上高は25億8百万円、営業利益は10億80百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(単位：百万円未満四捨五入)

	平成23年6月前期末	平成23年12月当四半期末	増減額
資産合計	341,300	380,139	38,839
負債合計	216,058	242,961	26,903
純資産合計	125,242	137,178	11,936

1. 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末（平成23年12月31日）における財政状態において、総資産は前連結会計年度末（平成23年6月30日）と比較し、388億39百万円増加して、3,801億39百万円となりました。これは主として、現金及び預金が141億95百万円、棚卸資産が86億38百万円及び有形固定資産が97億33百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較し、269億3百万円増加して、2,429億61百万円となりました。これは主として、買掛金が144億62百万円、借入金が76億57百万円増加した一方で、デリバティブ債務が29億57百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し、119億36百万円増加して、1,371億78百万円となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により得られた資金は、純利益の計上、減価償却費の計上及び仕入債務の増加等により、183億65百万円となりました。

投資活動に使用した資金は、定期預金の預入、有形固定資産の取得による支出及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出等により、302億16百万円となりました。

また、財務活動により得られた資金は、借入金増加、社債発行といった増加要因があった一方、更生担保権の返済による支出といった減少要因により、134億51百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、318億14百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災の影響や欧州の財政危機問題が依然として残る中で、生活必需品等の積極的な販売提案や価格施策を進めた結果、幅広いお客様の支持を頂きました。

このような状況をふまえ、平成23年8月18日付の「平成23年6月期 決算短信」で公表しました平成24年6月期の通期の連結業績予想について下記のとおり修正します。

(平成24年6月期 通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	528,900	27,000	26,800	14,000	181 75
今回修正予想(B)	531,000	28,500	27,500	16,410	212 90
増減額(B-A)	2,100	1,500	700	2,410	—
増減率(%)	0.4	5.6	2.6	17.2	—
前期実績	507,661	25,336	25,138	12,663	167 82

当社グループが事業を遂行している限り、様々なリスクや不確実性が伴います。そのため、実際の業績に影響を与える重要な要因として、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,031	49,226
受取手形及び売掛金	4,585	6,320
買取債権	6,787	9,836
商品及び製品	81,582	90,220
その他	6,544	8,010
貸倒引当金	△14	△18
流動資産合計	134,515	163,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	58,056	58,738
工具、器具及び備品(純額)	9,396	10,169
土地	87,187	95,426
その他(純額)	231	270
有形固定資産合計	154,870	164,603
無形固定資産	6,461	8,825
投資その他の資産		
投資有価証券	4,362	3,740
敷金及び保証金	33,303	32,974
その他	12,474	10,804
貸倒引当金	△4,685	△4,401
投資その他の資産合計	45,454	43,117
固定資産合計	206,785	216,545
資産合計	341,300	380,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,430	56,892
短期借入金	14,935	15,191
1年内返済予定の長期借入金	11,774	14,722
1年内償還予定の社債	12,922	24,942
コマーシャル・ペーパー	—	3,000
未払法人税等	4,434	5,904
ポイント引当金	186	176
災害損失引当金	1,132	207
資産除去債務	153	—
デリバティブ債務	2,978	8
その他	15,127	16,700
流動負債合計	106,071	137,742
固定負債		
社債	58,029	52,505
転換社債	350	350
長期借入金	35,570	40,023
デリバティブ債務	128	141
役員退職慰労引当金	367	377
負ののれん	2,449	2,020
資産除去債務	1,705	1,927
その他	11,389	7,876
固定負債合計	109,987	105,219
負債合計	216,058	242,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,561	19,608
資本剰余金	22,364	22,410
利益剰余金	85,165	97,202
自己株式	△3	△3
株主資本合計	127,087	139,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△327	△570
為替換算調整勘定	△3,155	△3,602
その他の包括利益累計額合計	△3,482	△4,172
少数株主持分	1,637	2,133
純資産合計	125,242	137,178
負債純資産合計	341,300	380,139

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日）
売上高	255,481	276,939
売上原価	189,607	205,129
売上総利益	65,874	71,810
販売費及び一般管理費	51,681	54,592
営業利益	14,193	17,218
営業外収益		
受取利息及び配当金	289	290
負ののれん償却額	429	429
その他	672	670
営業外収益合計	1,390	1,389
営業外費用		
支払利息	888	881
デリバティブ評価損	110	310
貸倒引当金繰入額	—	543
その他	554	422
営業外費用合計	1,552	2,156
経常利益	14,031	16,451
特別利益		
固定資産売却益	0	1
収用補償金	382	318
更生債権弁済益	—	1,782
その他	230	97
特別利益合計	612	2,198
特別損失		
投資有価証券評価損	218	6
店舗閉鎖損失	161	225
減損損失	457	94
和解金	58	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	682	—
その他	423	287
特別損失合計	1,999	615
税金等調整前四半期純利益	12,644	18,034
法人税、住民税及び事業税	5,358	5,748
法人税等調整額	△507	△146
法人税等合計	4,851	5,602
少数株主損益調整前四半期純利益	7,793	12,432
少数株主利益	244	497
四半期純利益	7,549	11,935

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,793	12,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	△231
為替換算調整勘定	△803	△447
その他の包括利益合計	△932	△678
四半期包括利益	6,861	11,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,617	11,257
少数株主に係る四半期包括利益	244	497

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,644	18,034
減価償却費	4,604	4,914
減損損失	457	94
負ののれん償却額	△429	△429
引当金の増減額(△は減少)	△7	578
受取利息及び受取配当金	△289	△290
支払利息	888	881
デリバティブ評価損益(△は益)	110	310
有形固定資産売却損益(△は益)	3	1
投資有価証券評価損益(△は益)	218	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	682	—
更生債権弁済益	—	△1,782
売上債権の増減額(△は増加)	△1,344	△4,665
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,737	△11,152
仕入債務の増減額(△は減少)	12,593	13,952
その他	1,473	3,138
小計	20,866	23,590
利息及び配当金の受取額	204	188
利息の支払額	△878	△818
法人税等の支払額	△3,802	△4,333
災害損失の支払額	—	△262
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,390	18,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,601	△23,953
定期預金の払戻による収入	23,523	12,822
有形固定資産の取得による支出	△12,953	△9,335
有形固定資産の売却による収入	364	3
無形固定資産の取得による支出	△2,600	△88
敷金及び保証金の差入による支出	△478	△617
敷金及び保証金の回収による収入	827	628
投資有価証券の売却による収入	927	191
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△6,360
デリバティブ決済による支出	—	△3,272
その他	△302	△235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,293	△30,216

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	426	256
長期借入れによる収入	11,000	14,500
長期借入金の返済による支出	△6,178	△6,771
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	—	2,996
社債の発行による収入	9,000	12,855
社債の償還による支出	△5,804	△6,504
転換社債の償還による支出	△25	—
更生担保権の返済による支出	—	△2,550
配当金の支払額	△1,081	△1,387
その他	7	56
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,345	13,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	△365	△168
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,077	1,432
現金及び現金同等物の期首残高	38,911	26,875
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△215	△0
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	3,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,782	31,814

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	テナント 賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	245,586	7,927	253,513	1,968	255,481	—	255,481
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,292	1,292	490	1,782	△1,782	—
計	245,586	9,219	254,805	2,458	257,263	△1,782	255,481
セグメント利益	10,960	2,746	13,706	395	14,101	92	14,193

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、マーケティング事業、携帯機器販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額92百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「リテール事業」セグメントにおいて、連結子会社㈱ダブルアールが展開する会員制卸売型小売事業について、当初想定していた収益が見込めなくなったため、当第2四半期連結累計期間に固定資産の減損損失390百万円を計上しております。また、「リテール事業」セグメントの一部店舗について、当初想定していた収益が見込めなくなったため、当第2四半期連結累計期間に固定資産の減損損失57百万円を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	テナント 賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	266,559	7,872	274,431	2,508	276,939	—	276,939
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	1,688	1,690	1,054	2,744	△2,744	—
計	266,561	9,560	276,121	3,562	279,683	△2,744	276,939
セグメント利益	12,918	3,352	16,270	1,080	17,350	△132	17,218

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、マーケティング事業、携帯機器販売事業、金融サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△132百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、(同)名古屋栄地所及び同子会社1社の新規連結により、新たにのれんが1,870百万円増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

連結子会社である㈱フィデックは、シンジケーション方式のタームローン契約を締結し、実行いたしました。

① 調達方法 シンジケーション方式のタームローンによる短期借入

② 借入先 ㈱みずほ銀行、㈱三井住友銀行 他18行

③ 借入金額 13,941百万円

④ 契約締結日 平成24年1月27日

⑤ 借入実行日 平成24年1月31日

⑥ 借入期間 1年

⑦ 財務制限条項等

(借入人の確約)

各月末時点における担保対象買取債権の金額から預り金等反対債務の金額を控除した金額と貸付人が指定する普通預金口座の残高の合計金額が総貸付残高の85%を下回らないこと。

(担保制限条項)

多数貸付人およびエージェントが書面により事前に承諾する場合又はその他一定の場合を除き、借入人及び第三者の負担する債務のために担保提供を行わない。

(財務制限条項)

各年度の年度決算や第2四半期決算における連結及び単体の貸借対照表の純資産の部の金額を負の値としないこと。各年度の年度決算における連結及び単体の損益計算書の経常損益が損失とならないこと。